



最優秀賞、優秀賞を獲得した学生たち  
**第17回 神奈川産学チャレンジプログラム 表彰式**  
 主催:一般社団法人神奈川経済同友会

# 神奈川産学チャレンジプログラム

## 4チームが最優秀賞

神奈川県内の企業や団体の抱える経営課題に、大学生が解決策を提案する「第17回神奈川産学チャレンジプログラム」が12月15日、横浜市の

メンバー ※敬称略、先頭がリーダー	所属ゼミ	テーマ・企業
竹中唯末、黒澤永大、長澤青山、三沢宮本	経営学部・福原康司	当社における人材確保の取り組み(旭企業株式会社)
山田拓海、白石亮	経営学部・目黒良門	地域金融機関として、地域のお役に立てる新たなサービスについて提案してください(かながわ信用金庫)
中嶋茜、森長	商学部・石川和男	マンションの長寿命化(株式会社富士防)
久保田常光、宮本	商学部・成岡浩一	デジタル活用により投資初心者向けサービス等、投資家層の拡大を図れる施策をご提案ください(SMBC日興証券株式会社)
山本龍馬、矢島明	経営学部・金成洙	
水野雅之、太田峻也	経営学部・福原康司	
永井悠太郎、加藤大生	商学部・石川和男	
加藤市紋、佐藤菜々花	商学部・石川和男	
原颯太郎、加藤桃子	商学部・石川和男	
磯田汐莉、秋本茉帆	商学部・櫻井康弘	
指田竜汰、原田由衣	商学部・谷守正行	
杉浦杏菜、青野俊輔	商学部・中原孝信	

### ◆最優秀賞◆

### ◆優秀賞◆

清沢佳奈、駒田昂	経営学部・目黒良門
花上未奈、岡田有莉夏	経営学部・小川博雅
山崎雅望、白石水谷	経営学部・今井雅和
加藤知子、鈴木海音	経営学部・間嶋崇
指田竜汰、原田由衣	経営学部・福原康司
杉浦杏菜、青野俊輔	経営学部・金成洙

パシフィコ横浜で行われた。専大からは最優秀賞に4チーム、優秀賞に14チームが選ばれた。2年ぶりの開催となった今回は31社から32チームが提示され、21大学157チームが参加。コロナ禍の影響で、リモートを活用した活動となったが、学生たちは積極的に取り組み、具体的な提案を行い、各企業から高い評価を受けた。

**最優秀賞チームリーダーの声**

●竹中唯末さん(経営3) 「人材確保」という課題に三つのアイデアを提案しました。企業の思いをくみ取り、根本から改善していくことの難しさや大切さを学ぶことができました。

●長澤萌々佳さん(経営3) 三浦半島の地域活性化について意見を出し合い、まとめていくことで、チームワークの大切さを学びました。この経験を今後に生かしていきたいです。

●中嶋茜さん(商3) 安心して暮らせるマンションとはどのようなものか考えました。議論が何度も振り出しに戻るなど苦労した分、力をつけることができました。

●久保田常光さん(商3) 投資家層の拡大を目的に大学生対象の新サービスを考えました。投資を学び、レポートを作成する作業は楽しく、メンバーの絆も深まりました。

3月1日の「就活解禁」に向けて準備は進んでいますか? 悩みや課題は人それぞれです。個別相談を活用して、課題克服に向けた対策を立てましょう。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キャリア形成支援課では状況に合わせて相談体制を変更しています。相談体制についてはキャリア形成支援課のホームページで最新情報を確認してください。

2月24日(木)、28日(月)、3月2日(水)、3日(木)に官公庁の36機関が集結する、「公務員・独立行政法人等業務説明会(学年不問)」を開催します。各機関の採用担当者が、業務内容や仕事内容などの情報をオンラインでお話しします。

2月16日(水)、21日(月)、3月2日(水)、11日(金)、17日(木)



宮田 宗彦  
 国際コミュニケーション学部准教授  
 (外国語教育研究室長)

### 英語の方言や訛りの聞き取りについて

最近トピックで出題されるリスニング問題での方言や訛りについて質問を受ける事が増えました。トピックの試験ではアメリカ英語、イギリス英語、カナダ英語、そしてオーストラリア英語の四つの英語の方言や訛りによるリスニング問題が出題されるので、どのように聞き分けられるのか勉強方法がわからないというところがその質問の理由になっています。

英語にも方言が存在します。例えば「受付」はアメリカやカナダではfront deskですが、イギリスやオーストラリアではreception、「アパート」はアメリカやカナダではapartmentですが、イギリスやオーストラリアではflatになります。ただし、このような方言の聞き取りは表現の違いを覚え語彙を増やすことで対応することができます。

厄介なのは、訛りの聞き取りです。ある訛りでは聞き取れる言葉が、他の訛りでは全く知らない言葉に聞こえてしまうことがあります。とても時間がかかる勉強法ですが、訛りによるそれぞれの特徴を一つ一つ覚えることで、トピックの問題に対応することができます。例えば、アメリカ英語では /r/ の発音を伸ばして発音しますが、イギリス英語の /r/ の発音はあまり強調されません。このような違いを覚えれば、アメリカ英語ではdoorは「ドア」と発音しますが、イギリス英語ではdoorは「ドー」になることがわかり、聞き取ることができるでしょう。もっと効果的なのは、多聴によって訛りの特徴に慣れていくことです。過去の問題集を使い、それぞれの訛りを何度も繰り返し聞き、慣れていくことで、聞き取りの力を伸ばすことができるでしょう。(応用言語学〈第二言語習得・英語教育学〉)

短縮版。全文はCALL教室ホームページで。

「専修リーダーシップ」が6チームに分かれ、企業活動に取り組み、報告会が12月23日、生田キャンパスで開かれた。同プログラムは、経営学部の正課科目(全学公開科目)とキャリアアデプティブセンターによる課外講座のハイブリッドプログラムとして開講。受講生は、講座と学内外でのテーマ活動に参加し、理論と実践、振り返り(内省)を通じてリーダーシップを身につける。今年度は33人の受講生

## 9カ月間の活動を報告

### リーダーシップ開発プログラム

「専修リーダーシップ」が6チームに分かれ、企業活動に取り組み、報告会が12月23日、生田キャンパスで開かれた。同プログラムは、経営学部の正課科目(全学公開科目)とキャリアアデプティブセンターによる課外講座のハイブリッドプログラムとして開講。受講生は、講座と学内外でのテーマ活動に参加し、理論と実践、振り返り(内省)を通じてリーダーシップを身につける。今年度は33人の受講生



各チームが見いだしたリーダーシップを発表。そのなかで見いだした自分たちのリーダーシップを発表した。川崎経済新聞チームは「読者の心を動かし、行動を起こさせる」ことを目標に、6本の記事を作成し、6本の重要性を学んだ。

た。企画、取材、執筆、編集にのめり込むあまり、記事の作成が目的化してしまったりと振り返り、「状況を伝えたい」という思いが、対話によって目標との差を解消することが大切」と訴えた。

た。企画、取材、執筆、編集にのめり込むあまり、記事の作成が目的化してしまったりと振り返り、「状況を伝えたい」という思いが、対話によって目標との差を解消することが大切」と訴えた。

## アントレプレナーシップ奨励金 西岡さん(令3商)に贈呈



左から小林教授、西岡さん、選考委員の内原康雄氏(昭62経営)

同制度は、キャリアアデプティブセンター主催の教育プログラムを受講して起業を実現した学生の奨励を目的に20年に創設された。西岡さんは4年次に専大ベンチャービジネスに専攻し、起業を志す学生に奨励金を提供する。2021年2月に「たびふあん」を起業した。現在は行政と連携した実証実験やサービス拡充などに取り組んでおり、「大量送客を前提にした従来の旅行代理店事業とは異なる、息の長い『旅のロングテールモデル』をつくりたい」と意気込みを語った。

同制度は、キャリアアデプティブセンター主催の教育プログラムを受講して起業を実現した学生の奨励を目的に20年に創設された。西岡さんは4年次に専大ベンチャービジネスに専攻し、起業を志す学生に奨励金を提供する。2021年2月に「たびふあん」を起業した。現在は行政と連携した実証実験やサービス拡充などに取り組んでおり、「大量送客を前提にした従来の旅行代理店事業とは異なる、息の長い『旅のロングテールモデル』をつくりたい」と意気込みを語った。

### 専修人の新しい本

ポーランド児童救済事業の記録 『波蘭児童関係日誌』 一九二〇〜一九三三年

冷による親の死亡で、孤児が多数発生した。波蘭児童救済会(1919年設立)は子どもたちを日本から米国または英国経由でポーランドへ帰国させる計画を立て、日本国内での救済を日本政府に依頼、その任を日本赤十字社が担った。本書は、宿舎日誌『波蘭児童関係日誌』を初全訳し、さらに、日赤と孤児に宿舎を提供した福田会の機関誌、新聞雑誌等の本事業関係記事も初訳した。救済する側中心に検討している先行文献と異なり、日誌中心にほかの史料も紹介し、救済事業の経緯を詳しく解説する。1920〜22年、東京大坂で765人のポーランド児童が救済された。第一次世界大戦とロシア革命後のシベリアには約5万人のポーランド人が在在。内戦や、飢餓・寒



大西勝明氏(おおにし・かつあき) 名誉教授・元商学部教授



1月23日、78歳で死去。1968年から2014年まで在職。専門は経営学。